

湘南医療大学 研究業績

学会発表

演題	学会名	発表月	氏名
臨界期にある統合失調症者を訪問する訪問看護師の自律性を高める教育プログラムの検討	第 21 回日本アディクション看護学会学術集会	令和 5 年 9 月 9 日	片山典子
COVID-19 の影響に係る新人看護職のメンタルヘルスに関する支援プログラムの効果の検討	第 21 回日本アディクション看護学会学術集会	令和 5 年 9 月 9 日	片山典子, 陶山克洋, 渡部李菜, 大胡晴香
COVID-19 拡大に伴う自粛生活による 1 型糖尿病患者の心身への影響	第 21 回日本アディクション看護学会学術集会	令和 5 年 9 月 9 日	陶山克洋, 片山典子
新人看護職の SOC (Sense of Coherence) に関する文献レビュー	第 21 回日本アディクション看護学会学術集会	令和 5 年 9 月 9 日	渡部李菜, 片山典子
青年期におけるインターネット依存と精神的健康に焦点を当てた文献レビュー	第 21 回日本アディクション看護学会学術集会	令和 5 年 9 月 9 日	大胡晴香, 片山典子
精神科訪問看護に求められるもの—あらためて精神科訪問看護の質を考える	第 30 回日本精神科看護専門学術集会	令和 5 年 11 月 22 日	片山典子, 浅見幸子, 吉岡康文, 大島江理芳
介護支援専門員が認識する協働的能力の特徴および構成要素の検討	第 28 回日本在宅ケア学会学術集会	2023 年 11 月 12 日	小林紀明
介護支援専門員における協働的能力における協働的能力の構成概念妥当性の検証	第 43 回日本看護科学学会学術集会	2023 年 12 月 10 日	小林紀明
シンポジウム 「若者を支えるためにどのようにつながるか」	第 22 回日本母子看護学会学術集会プログラム	2023 年 8 月	山崎圭子 (座長)
職場の環境が子どもをもつ既婚女性労働者の次子希望と健康度に与える影響に関する質問紙調査	第 64 回日本母性衛生学会総会学術集会 愛育賞受賞	2023 年 10 月	白川美歩, 金子政時, 山崎圭子, 松岡あやか
子育て中の女性の子どもの持つことに対する価値観と健康関連 Quality of Life の実態	第 64 回日本母性衛生学会総会学術集会	2023 年 10 月	深井茉那, 金子政時, 山崎圭子
一般演題発表	第 21 回日本生殖心理学会・学術集会	2024 年 2 月	山崎圭子 (座長)
ICU 看護	第 19 回 日本クリティカルケア看護学会	2023 年 7 月	山勢善江 (座長)
看護における次世代育成の探求	第 49 回 日本看護研究学会	2023 年 8 月	山勢善江 (シンポジスト)
救急医療現場で求められる ACP	第 41 回 福岡救急医学会	2023 年 9 月	山勢善江 (教育講演)
家族看護の原点に立ち返り、改めてそのあり方を探る	第 25 回 日本救急看護学会	2023 年 11 月	山勢善江 (座長)
継続的に開催している自主的な緩和ケア研究会の評価—多職種によるトリガービデオを用いた高齢がん患者の意思決定支援研修の評価—	第 38 回日本がん看護学会学術集会	2024 年 2 月	渡邊眞理, 小笠原利枝, 山内桂子, 清水奈緒美, 岡多恵, 三堀いずみ, 井上智香, 日塔裕子, 古矢尚子, 谷島和美, 武見綾子, 齋藤幸枝, 谷村美希, 横川史穂子, 小川朝生
多職種による 高齢がん患者の意思決定支援 (意思の推定) 研修会の評価—グループワーク感想の質的分析—	第 38 回日本がん看護学会学術集会	2024 年 2 月	岡多恵, 渡邊眞理, 清水奈緒美, 三堀いずみ, 小川朝生

演題	学会名	発表月	氏名
多職種による高齢がん患者の意思決定支援（意思の推定）研修会の評価—意思決定支援の取り組みと今後の課題の質的分析—	第 38 回日本がん看護学会学術集会	2024 年 2 月	清水奈緒美、渡邊眞理、三堀いずみ、小川朝生
多職種による高齢がん患者の意思決定支援（意思の推定）研修会の評価	第 38 回日本がん看護学会学術集会	2024 年 2 月	渡邊眞理、清水奈緒美、三堀いずみ、小川朝生
交流集会： 高齢がん患者の意思決定（意思の推定）	第 38 回日本がん看護学会学術集会	2024 年 2 月	渡邊眞理（企画・運営代表者）
接触予防策が講じられた患者に対して倫理調整を必要と感じた場面とその対応について	日本環境感染学会 第 38 回学術集会	2023 年 7 月	遠藤真理子、落合亮太、青盛真紀、野口京子、渡部節子
専門外来の受診とたんばく質制限の実施は糖尿病性腎症患者の血液透析導入までの保存期の機関と関連する	日本腎不全看護学会第 26 回学術集会	2023 年 11 月	竹山志津子、徳永友里、岩崎和子、大木美紀、石田由美子、岡本幸子、金井絆、渡部節子
多職種による高齢がん患者の意思決定支援（意思の推定）研修会の評価	第 38 回日本がん看護学会学術集会	2024 年 2 月	渡邊眞理、清水奈緒美、岡多恵、三堀いずみ他
多職種による高齢がん患者の意思決定支援（意思の推定）研修会の評価 グループワークの感想の質的分析	第 38 回日本がん看護学会学術集会	2024 年 2 月	清水奈緒美、渡邊眞理、岡多恵、三堀いずみ他
多職種による高齢がん患者の意思決定支援（意思の推定）研修会の評価—意思決定支援の取り組みと今後の課題認識の質的分析—	第 38 回日本がん看護学会学術集会	2024 年 2 月	岡多恵、渡邊眞理、清水奈緒美、三堀いずみ他
看護職のための神奈川緩和ケア研究会 多職種によるトリガービデオを用いた高齢がん患者の意思決定支援研修の評価	第 38 回日本がん看護学会学術集会	2024 年 2 月	渡邊眞理、小笠原利枝、山内桂子、清水奈緒美他
シンポジウム 2「コロナ禍で教育を受けた看護師たちのその後」 コロナ禍における臨地実習の変容がもたらした影響	日本看護学教育学会第 3 回学術集会	令和 5 年 8 月	櫻井友子
コロナ発生後における地域活動への参加交流に対する都市在住高齢者の意識<第 1 報>	第 28 回日本在宅ケア学会学術集会	2023 年 11 月 11 日、 12 日	塚原ゆかり、菊池有紀
コロナ禍の都市在住高齢者の主観的満足感と社会的サポート・ネットワークとの関連<第 2 報>	第 28 回日本在宅ケア学会学術集会	2023 年 11 月 11 日、 12 日	菊池有紀、塚原ゆかり
Caring partnership with nurse and HEC praxis	Dr. Margaret A. Newman Center for Nursing Theory Inaugural Dedication and Dialogue Event, University of Tennessee Health Sciences, College of Nursing Memphis, Tennessee,	May 30-31, 2023	Yuko Kurahashi
精神科看護における音楽療法と音楽活動に焦点を当てた文献レビュー	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine(1881-3526) 60 巻特別号 Page4-P-5-3	2023.05	大胡 晴香, 斉藤 琴子, 山崎 真帆, 倉橋 悠子
M. ニューマン理論に基づく、部下との関わりに困難感を抱く看護師長とのケアリング・パートナーシップの過程	一般社団法人 日本看護学教育学会 第 33 回学術集会	8 月, 2023	倉橋悠子
ニューマンセンター開設式で発表した看護実践研究の報告 Caring partnership with nurse and HEC praxis.	NPO 法人ニューマン理論・研究・実践研究会 2023 年度学習会	10 月, 2023	倉橋悠子

演題	学会名	発表月	氏名
【招待講演】 生成 AI (ChatGPT) を用いたケアの伝承、クリ ンルームで治療する白血病患者のストレス を軽減するための音楽プログラムの開発 進 捗報告	LIP. 横浜オープンイノベーションカン ファレンスIX “クロスイノベー ション Breaking Barriers 異なる領域の融合が導く新たな世 界”	2 月, 2024	倉橋悠子
ゲーム形式 ACP 普及ツール人 生トランプの高齢者支援専門職による評価	第 82 回日本公衆衛生学会総会	2023 年 11 月	榎本晃子、田口 (袴田) 理 恵、荒木亜紀、久保善子、 高橋美保
新人看護職の SOC (Sense of Coherence) に関する文献レビュー	第 21 回日本アディクション看護学 会学術集会 (石川)	9 月	渡部李菜, 片山典子
COVID-19 の影響に係る新人看護職のメンタル ヘルスに関する支援プログラムの効果の検討	第 21 回日本アディクション看護学 会学術集会	9 月	片山典子, 陶山克洋, 渡部 李菜, 大胡晴香
ジェネラリストとスペシャリスについて これからの理学療法士に期待すること	高知県理学療法士会 福祉部合同研修会: 教育講演	令和 5 年 11 月 19 日	鶴見隆正
自覚的強度を指標とした非最大努力による握 力および膝伸筋力の特徴	第 10 回日本予防理学療法学会学術大 会	2023. 10	大森圭貢, 森尾裕志, 中尾 陽光, 坂上昇, 大森みかよ
非利き手での箸操作練習による動作獲得と 自己効力感との関係	日本リハビリテーション連携科学学 会第 25 回大会	2024. 03	大森圭貢, 森尾裕志, 櫻井 好美, 関根悟, 大森みか よ, 山本淳一
リウマチ性疾患患者における PT P 包装開 封とピンチ力との関係について	日本リハビリテーション連携科学学 会第 25 回大会	2024. 03	森尾裕志, 定本清美, 大森 圭貢, 浦裕之, 久保田清
Intervention for Non-Dominant Hand Chopstick Manipulation in Rehabilitation and Possible Collaboration with Robotics	International Symposium on C ommunity-centric Systems and Robots 2024 (CcSR 2024)	2024. 02	Omori Y, Morio Y, Sakurai Y, Saekine S, Omori M, Ya mamoto J
The Effectiveness of Home-based Step Training on lower limb and cardiopulmonary function in older adults: A Potential Collaboration with Mechanical Device and ICT	International Symposium on C ommunity-centric Systems and Robots 2024 (CcSR 2024)	2024. 02	Morio Y, Omori Y, Sakurai Y, Yamamoto J
橈骨遠位端骨折術後患者の炎 症症状と痛みの経時的変化	第 57 回日本作業療法学会	2023. 11	大野博子, 大森みかよ, 寺内 昂, 大森圭貢, 仁木久照
理学療法士のストレス対処能力とバーンアウ トの関連	日本理学療法管理学会・日本精 神・心理領域理学療法研究 会・合同学術大会 2023 年	2023. 11	山本真広, 大森圭貢, 森尾 裕志, 川越潤一
自覚的強度を指標とした非最大努力による握 力および膝伸筋 力の特徴	第 10 回日本予防理学療法学会学術大 会	2023. 10	大森圭貢, 森尾裕志, 中尾陽光, 坂上昇, 大森み かよ
高齢者における新たな動作獲得の可能性: 非利き手箸操作の計測とリハビリテーショ ン: Possibility of acquiring new movements in older people: measurement of non-dominant hand chopstick manipulation and rehabilitation	第 31 回インテリジェント・システ ム・シンポジウム FAN 2023 in Fukuoka The 31st Symposium on Fuzz y, Artificial Intelligence, Neura l Networks and Computational Intelligence	2023. 09	大森圭貢, 森尾裕志, 大森 みかよ, 関根悟, Adnan Rachmat Anom Besari, 大 保武慶, 久保田直行, 山本 淳一
手指機能と医薬品利用や日常動作への影響; 関節リウマチ症例の握力、ピンチ力とペッ ト ボトル開封の関係	人間工学会第 64 回	2023. 09	森尾裕志, 定本清美, 大森 圭貢, 浦裕之, 久保田清
Effects of actual eating practice using chopsticks with a non -dominant hand in daily life on fine motor skills in older people	Association for Behavior Anal ysis International's 49th Annu al Convention	2023. 05	Omori Y, Morio Y, Saekine S, Omori M, Yamamoto J

演題	学会名	発表月	氏名
Improving Chopstick Use by Non-Dominant Hand in Mealtime for Elderly Persons: Home-Based Intervention with Self-Recording	49th Annual Convention, Association for Behavior Analysis International 2023, Denver	2023年05月	Yamamoto J, Sekine S, <b>Morio Y</b> , Omori M, Omori Y
循環器理学療法の評価の標準化～急性期のミニマムスタンダードの作成～: 循環器理学療法における評価の標準化～ミニマムスタンダードの作成目的と作成までの道のり～	第7回日本循環器理学療法学会学術大会(東京)	2023年09月	加藤倫卓, 井澤和夫, 阿部義史, 大西伸悟, 北村匡大, 鬼頭和也, <b>森尾裕志</b> , 柳英利, 山崎一史, 山本智史
循環器理学療法の評価の標準化～急性期のミニマムスタンダードの作成～: 急性期における循環器理学療法の評価の標準化～病態把握ならびに循環器理学療法の効果判定の指標～	第7回日本循環器理学療法学会学術大会(東京)	2023年09月	大西伸悟, 阿部義史, 井澤和夫, 鬼頭和也, <b>森尾裕志</b> , 加藤倫卓
循環器理学療法の評価の標準化～急性期のミニマムスタンダードの作成～: 急性期におけるミニマムスタンダード～循環器理学療法士が測定または調査し得る指標～	第7回日本循環器理学療法学会学術大会(東京)	2023年09月	阿部義史, 井澤和夫, 大西伸悟, 加藤倫卓, 鬼頭和也, <b>森尾裕志</b>
高齢者における新たな動作獲得の可能性: 非利き手箸操作の計測とリハビリテーション (Possibility of acquiring new movements in older people: measurement of non-dominant hand chopstick manipulation and rehabilitation)	第31回インテリジェント・システム・シンポジウム FAN 2023 in Fukuoka The 31st Symposium on Fuzzy, Artificial Intelligence, Neural Networks and Computational Intelligence	2023年09月	大森圭貢, <b>森尾裕志</b> , 大森みかよ, 関根 悟, Adnan Rachm at Anom Besari, 大保武慶, 久保田直行, 山本淳一
手指機能と医薬品利用や日常動作への影響	人間工学会第64回(千葉)	2023年09月	定本清美, 浦裕之, <b>森尾裕志</b> , 久保田清
手指機能と医薬品利用や日常動作への影響: 吸入デバイス使用時の問題点 -手指機能に関連する課題-	人間工学会第64回(千葉)	2023年09月	浦 裕之, 定本清美, 久保田清, <b>森尾裕志</b>
手指機能と医薬品利用や日常動作への影響: 関節リウマチ症例の握力、ピンチ力とペットボトル開封の関係	人間工学会第64回(千葉)	2023年09月	<b>森尾裕志</b> , 定本清美, 大森圭貢, 浦 裕之, 久保田清
自覚的強度を指標とした非最大努力による握力および膝伸筋力の特徴	第10回日本予防理学療法学会学術大会	2023年10月	大森圭貢, <b>森尾裕志</b> , 中尾陽光, 坂上 昇, 大森みかよ
理学療法士のストレス対処能力とバーンアウトの関連	日本理学療法管理学会・日本精神・心理領域理学療法研究会・合同学術大会 2023年	2023年11月	山本真広, 大森圭貢, <b>森尾裕志</b> , 川越潤一
Intervention for Non-Dominant Hand Chopstick Manipulation in Rehabilitation and Possible Collaboration with Robotics	International Symposium on Community-centric Systems and Robots 2024, Hachijyo Island	2024年02月	Omori Y, <b>Morio Y</b> , Sakurai Y, Sekine S, Omori M, Yamamoto J
The Effectiveness of Home-based Step Training on lower limb and cardiopulmonary function in older adults: A Potential Collaboration with Mechanical Device and ICT	International Symposium on Community-centric Systems and Robots 2024, Hachijyo Island	2024年02月	<b>Morio Y</b> , Omori Y, Sakurai Y, Yamamoto J
非利き手での箸操作練習による動作獲得と自己効力感との関係	日本リハビリテーション連携科学学会第25回大会(オンライン)	2024年03月	大森圭貢, <b>森尾裕志</b> , 櫻井好美, 関根悟, 大森みかよ, 山本淳一
リウマチ性疾患患者における PTP 包装開封とピンチ力との関係について	日本リハビリテーション連携科学学会第25回大会(オンライン)	2024年03月	<b>森尾裕志</b> , 定本清美, 大森圭貢, 浦裕之, 久保田清
人工膝関節再置換術後患者を対象とした患者立脚型アウトカムの臨末的に意味のある閾値	日本運動器理学療法学会	2023年10月	田澤 智央, 山田 拓実, 古谷英孝, 山本 尚史, 島根 幸依, 八木 勇太, 田中友也, 杉本和隆

演題	学会名	発表月	氏名
内側楔状開大式高位脛骨骨切り術後早期にテニスが可能となった高齢者の1症例	日本運動器理学療法学会	2023年10月	浪越 啓史, 木村 亮太, 菅原貴之, 松田 哲也, 山田拓実, 白土 貴史
COVID-19 禍における臨床見学実習の取り組み	全国大学理学療法学会	2024年2月	儀間 裕貴, 池田 由美, 伴佳生, 浅田 実徳, 勝又 瑞葵, 弓長 成徹, 山田 拓実
虚弱高齢者の歩行速度に関連する要因の検討	日本リハビリテーション連携科学学会	2024年3月	万行 里佳, 山田 拓実
妊婦体験ジャケット着用時の歩行中の動的安定性と下肢筋力の関係	第9回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会	2023.11	櫻井好美
妊娠前からの生活習慣が産に与える影響ー母子予後良好の出産例を対象とした調査ー	第9回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会	2023.11	白井有紀 櫻井好美
非利き手での箸操作練習による動作獲得と自己効力感との関係	日本リハビリテーション連携科学学会第25回大会	2024.03	大森圭貢, 森尾裕志, 櫻井好美, 関根悟, 大森みかよ, 山本淳一
Intervention for Non-Dominant Hand Chopstick Manipulation in Rehabilitation and Possible Collaboration with Robotics	International Symposium on Community-centric Systems and Robots 2024 (CcSR 2024)	2024.02	Yoshitsugu OMORI, Yuji MORIO, Yoshimi SAKURAI, Satoru SEKINE, Mikayo OMO RI, Junichi YAMAMOTO
自覚的強度を指標とした非最大努力による握力および膝伸筋力の特徴	第10回日本予理理学療法学会学術大会	2023年10月	大森圭貢, 森尾裕志, 中尾陽光, 坂上昇, 大森みかよ
招待講演「高次脳機能障害をとらえるための脳画像の読み方」	山口県理学療法士会主催定期理学療法研修会	2023年5月14日	大村優慈
教育講演「高次脳機能障害に関連する脳領域の画像形態」	第21回日本神経理学療法学会学術大会	2023年9月28日-29日	大村優慈
教育講演「脳画像の基礎知識と理学療法での活用の実例」	第33回京都府理学療法学会学術大会	2023年11月19日	大村優慈
招待講演「脳画像を”正しく”読影するためのポイント」	第31回全道理学療法士学術研修大会・第3回道北支部学術研修大会	2023年12月2日	大村優慈
教育講演「脳卒中装具療法に役立つ脳画像の読み方」	第12回効果をあげる理学療法技術としての義肢装具療法を考えるフォーラム	2024年3月10日	大村優慈
口演7「脳機能・画像解析」	第21回日本神経理学療法学会学術大会	2023年9月28日-29日	内田 学, 大村優慈 (座長)
優秀演題1 (調査研究部門)	第12回日本支援工理学療法学会学術大会	2023年12月16日-17日	高木治雄, 大村優慈 (座長)
特別企画「義肢装具を生活の中でより良く使うための工夫」	第12回効果をあげる理学療法技術としての義肢装具療法を考えるフォーラム	2024年3月10日	大村優慈 (司会)
脳血管疾患患者の回復期リハビリテーション病棟退院時の30秒椅子立ち上がりテストと歩行自立の関係	第60回日本リハビリテーション医学会学術集会	2023年6月29日-7月2日	樋口明伸, 大村優慈
回復期リハビリテーション病棟においてCOVID-19 クラスター中にリハビリテーション介入を止めなかった効果	第60回日本リハビリテーション医学会学術集会	2023年6月29日-7月2日	二瓶太志, 中尾恒司, 新井健, 大村優慈, 酒向正春
回復期病棟で発生したCOVID-19 クラスター下の感染防御における言語聴覚士の役割	第60回日本リハビリテーション医学会学術集会	2023年6月29日-7月2日	グラハム亮子, 大村優慈, 二瓶太志, 岸下亜希子, 酒向正春

演題	学会名	発表月	氏名
回復期リハビリテーション病棟における 9 単位 / 日を超えるリハビリテーション介入の効果	第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会	2023 年 6 月 29 日 - 7 月 2 日	二瓶太志, <u>大村優慈</u> , 酒向正春
介護老人保健施設に入所している車いす使用者の移乗自立と連続起立回数との関係	第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会	2023 年 6 月 29 日 - 7 月 2 日	脇島克介, <u>大村優慈</u> , 酒向正春, 小笠原尚和
神経解剖学と脳画像評価に対するセラピストの意識調査	第 21 回日本神経理学療法学会学術大会	2023 年 9 月 28 日 - 29 日	<u>大村優慈</u> , 小林英司
介護老人保健施設入所者における 食堂の座席で起立運動を反復できる回数とフロア内歩行の関係	第 10 回日本予防理学療法学会学術大会	2023 年 10 月 28 日 - 29 日	<u>大村優慈</u> , 脇島克介, 酒向正春, 小笠原尚和
回復期リハビリテーション病棟入院患者における COVID-19 クラスター前後でのバランス機能と歩行能力の変化	第 10 回日本予防理学療法学会学術大会	2023 年 10 月 28 日 - 29 日	岸下亜希子, 遠藤春菜, 奥川裕介, 松本夢奈, 二瓶太志, <u>大村優慈</u>
個別避難計画の重要性と DWAT について	神奈川県理学療法士会災害対策キャラバン	2024 年 2 月	下田栄次
災害と理学療法士との関わりについて	神奈川県理学療法士会災害対策研修会	2024 年 1 月	下田栄次
第 6 回日本産業理学療法研究会学術大会 一般演題 (口述) (労働災害) 座長	日本産業理学療法研究会 日本予防理学療法学会	2023 年 10 月	下田栄次
災害時のリハビリテーション専門職の対応	令和 5 年度訪問リハビリテーション実務者研修会 中央 WEB 研修会	2023 年 8 月	下田栄次
人工炭酸温水による足浴が下肢筋力向上と転倒予防への可能性について	第 26 回人工炭酸泉研究会	2023 年 12 月 1 日	中村壽志, 前田眞治
認知負荷を伴う変速歩行制御が注意需要と歩行パターンに及ぼす影響	第 42 回関東甲信越ブロック理学療法士学会	2023 年 10 月	廣田 耕二郎, 竹中 悠真, 小久江 智耶, <u>土田 将之</u> , 甲斐義弘, 菅原 憲一, 鈴木智高
能動的な歩行速度調整に関わる運動学的要因	第 28 回日本基礎理学療法学会学術大会	2023 年 12 月	柳瀬 美空, 安武 快, 小久江智耶, 竹中 悠真, <u>土田 将之</u> , 菅原 憲一
生活期の脳卒中後上肢麻痺に対し複数のニューロリハビリテーションを併用した一事例	リハビリテーション・ケア合同研究大会 (広島)	2023 年 10 月	小齋奈央, <u>増田雄亮</u> , 川上途行, 沢田宏美清水彩可, 高野莉歩, 松永玄, 近藤国嗣
生活期脳卒中患者に対する自主訓練型上肢機能訓練の効果	第 57 回日本作業療法学会 (沖縄)	2023 年 11 月	沢田宏美, <u>増田雄亮</u> , 新藤恵一郎, 近藤国嗣
急性期リハビリテーション専門職を対象としたエビデンスに基づく実践の促進要因に関する検討	第 57 回日本作業療法学会 (沖縄)	2023 年 11 月	佐藤雅哉, <u>増田雄亮</u>
作業療法士の基本属性および臨床・教育・研究の経験と EBPSA との関連	第 57 回日本作業療法学会 (沖縄)	2023 年 11 月	<u>増田雄亮</u> , 八重田淳會田玉美
エビデンスに基づくリハビリテーション実践のための卒前・卒後教育に関する研究	日本リハビリテーション連携科学学会 研究推進委員会・国際研究推進委員会主催定例研究会 (オンライン)	2023 年 11 月	<u>増田雄亮</u> , 八重田淳會田玉美
Evidence-Based Practice 遂行尺度の開発と信頼性・妥当性の検討	日本リハビリテーション連携科学学会 第 25 回大会 (オンライン)	2024 年 3 月	<u>増田雄亮</u> , 八重田淳廣瀬卓哉, 會田玉美
脳血管障害患者における疾患後の抑うつ状態の捉え方について	第 57 回日本作業療法学会	令和 5 年 11 月 10 日~12 日(2023)	三川年正, 田邊浩文
回復期病棟における精神的問題の疑いがある患者への対応について ~リハビリテーション専門職に対する質的調査~	第 57 回日本作業療法学会	令和 5 年 11 月 10 日~12 日(2023)	阿原千尋, 三川年正
ジョン・デューイの日常性と芸術性の連続性 -作業療法における「作業」との関連から	第 8 2 回日本哲学会大会	2023. 5. 20	西野由希子

演題	学会名	発表月	氏名
Feasibility of CRSF (Child Resistance & Senior Friendly) drug packages and its needs	FUTURE OF BIOLOGICS AND BIOSIMILARS MEDICINAL CHEMISTRY & PHARMACOLOGY Joint Euro-Global Summit	November 06-07, 2023	Kiyomi Sadamoto
Feasibility of CRSF (child Resistance & Senior Friendly) drug packages and its potential effectiveness.	9th International Conference on Physical Health, Public Health & Health Management	July 15-16 2023	Kiyomi Sadamoto
手指機能と医薬品利用や日常動作への影響	日本人間工学会第 64 回シンポジウム	2023 年 9 月	定本清美、浦裕之
吸入デバイス使用時の問題点、手指機能に関する課題	日本人間工学会第 64 回シンポジウム	2023 年 9 月	浦裕之、定本清美
関節リウマチ患者における PTP 包装開封とピンチ力の関係について	日本リハビリテーション連携科学学会第 25 回大会	2024 年 3 月	森尾裕志、定本清美
クロロフィン-1 タンパク質細胞内局在を操る経皮吸収促進技術の開発	日本薬学会第 144 年会 (横浜)	令和 6 年 3 月 28 日-31 日	内田美里、吉野雄太、遠藤智史、石川吉伸、五十里彰
アスパラギン残基の脱アミド化による $\gamma$ S クリスタリンの構造変化と凝集の関係	日本薬学会第 144 年会 (横浜)	令和 6 年 3 月 28 日-31 日	加藤紘一、仲吉朝希、栗本英治、小田彰史、石川吉伸
メイラード反応初期段階におけるシッフ塩基形成反応の量子化学計算による解析	第 51 回構造活性相関シンポジウム (東京)	令和 5 年 11 月 20-21 日	加藤紘一、仲吉朝希、篠原康郎、栗本英治、小田彰史、石川吉伸
Computational study of the Ring Opening Process in Nonenzymatic Peptide Bond Cleavage at the C-Terminal Side of an Asparagine Residue	34th IUPAP Conference on Computational Physics (Kobe)	令和 5 年 8 月 7 日	Koichi Kato, Tomoki Nakayoshi, Eiji Kurimoto, Akifumi Oda, <u>Yoshinobu Ishikawa</u>
$\gamma$ S-クリスタリンにおける全アスパラギン残基の脱アミド化による凝集促進	第 23 回日本蛋白質科学会年会 (名古屋)	令和 5 年 7 月 5 日	加藤紘一、仲吉朝希、栗本英治、小田彰史、石川吉伸
受容体データベース BindingDB の有用性の検討	第 9 回日本医薬品安全性学会学術大会 (東京)	2023 年 7 月 17 日	細谷龍一郎、寺島朝子、野澤(石井)玲子、加賀谷肇、植沢芳広
基礎と臨床をつなぐ取り組みとしての生物系基礎科目；1 年次前期「生物系基礎科学」の例	第 8 回日本薬学教育学会 (熊本)	2023 年 8 月 20 日	殿山泰弘、須藤遥、寺島朝子、加賀谷肇、定本清美、石田洋一
薬学教育における実習教材としてのメダカの有用性	第 8 回日本薬学教育学会 (熊本)	2023 年 8 月 20 日	須藤遥、殿山泰弘、寺島朝子、加賀谷肇、定本清美、石田洋一
チーム医療の実践力を育む 2 年次学生向け演習の薬学教育モデル・コアカリキュラム (令和 4 年度改訂版) への対応状況と今後の課題	第 8 回日本薬学教育学会 (熊本)	2023 年 8 月 20 日	寺島朝子、細谷龍一郎、小野塚真理、佐野和美、市丸嘉、加藤紘一、加藤裕久、定本清美、塩田清二、進藤綾大、須藤遥、殿山泰弘、古屋博行、山崎泰広、若山恵、石橋芳雄、加賀谷肇、鈴木勉
薬剤誘発性吃逆とドパミンD2受容体の関係	第 33 回日本医療薬学会年会 (仙台)	2023 年 11 月 4 日	細谷龍一郎、寺島朝子、野澤(石井)玲子、植沢芳広、加賀谷肇
薬剤性吃逆 (しゃっくり) と関連する核内受容体の検討	2024 年緩和医療薬学会 (神戸)	2024 年 1 月 11 日	細谷龍一郎、寺島朝子、野澤(石井)玲子、植沢芳広、加賀谷肇
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動は医療用麻薬の適正使用に影響しているか?	日本薬学会 144 年会 (横浜)	2024 年 3 月 31 日	鈴木勉、長谷川真司、加賀谷肇

演題	学会名	発表月	氏名
シンポジウム 60：がん薬物療法・緩和医療において、薬剤師が効果的に持続可能な貢献をするための方策とは？ 効果的で持続可能な貢献が期待される薬剤師を輩出するには？	日本薬学会第 144 回年会	3 月 31 日	加藤裕久 (シンポジスト)
一般演題5	第 58 回緑膿菌感染症研究会	2024 年 1 月	木村聡一郎 (座長)
一般演題・基礎2	第 72 回日本感染症学会東日本地方会学術集会	2023 年 10 月	木村聡一郎 (座長)
プロバイオティクス大腸菌由来外膜小胞を使った肺炎球菌ワクチンの投与ルートとの検討	第 53 回 レンサ球菌研究会	2023 年 10 月	中尾龍馬、安倍公博、山口雄大、木村聡一郎、明田幸宏
血漿中の単球由来 microvesicles を用いた COVID-19 重症化評価の可能性	第 71 回日本化学療法学会総会	2023 年 4 月	青柳哲史、梶原千晶、木村聡一郎、山口哲央、吉澤定子、石井良和、舘田一博
肺炎球菌性肺炎における疾患感受性遺伝子を起点とした病態増悪機構の研究	第 71 回日本化学療法学会総会	2023 年 4 月	進藤綾大、舘田一博、木村聡一郎
シンポジウム 5「緩和医療推進のための日本緩和医療薬学会会員主導臨床研究」	第 16 回日本緩和医療薬学会年会	5 月 28 日	国分秀也 (座長)
シンポジウム 4「臨床研究の推進と研究結果を投稿するまで」	第 16 回日本緩和医療薬学会年会	5 月 27 日	国分秀也
当院におけるがん性疼痛に対するケタミン投与症例の調査と有効性の検討	第 16 回日本緩和医療薬学会年会	5 月 27 日	小林慎、久保暉、高木洋明、鬼窪利英、国分秀也
オピオイド naïve のがん疼痛患者における低用量フェンタニル貼付剤と経口オキシコドン徐放製剤の鎮痛効果および安全性に関する比較検討	第 144 回日本薬学会年会	3 月 30 日	川名真理子、宮里明芽、船渡三結、長谷圭悟、鈴木訓史、小野田千晴、藤本英哲、大野凜太郎、日下部鮎子、桐林美緒、中村和代、近藤 匡慶、尾関あゆみ、岡本晃典、国分秀也
抗がん剤を安全に投与する～デバイス選択、血管外漏出・静脈炎に取り組む～	第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会	2024 年 2 月	佐藤享也
皮膚障害とアピランスケア～世界の潮流と課題～	第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会	2024 年 2 月	佐藤享也
Efficacy and Safety of Bone Management Agents Administered at 12 vs. 4 Weeks in Bone Metastases: A Systematic Review	第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会	2024 年 2 月	佐藤享也
後進の育成と新しい自分の見つけ方 ～がん指導薬剤師、52歳男性の事例～	第 10 回がん専門薬剤師アドバンスト研修会	2024 年 2 月	佐藤享也
『どうする!骨転移? がん患者のウェルビーイングを目指して』薬物療法 (2)	秋田大学次世代がん医療プロフェッショナル養成プラン	2024 年 2 月	佐藤享也
がん薬物療法の末梢神経障害最新エビデンスから薬剤師ができること	第 45 回日本病院薬剤師会近畿学術大会	2024 年 1 月	佐藤享也
臨床現場の未解決な問題・疑問解決をテーマに臨床研究を行う実際テーマの発見、背景調査、文献検索、研究計画の立案を中心に	日本緩和医療薬学会 第 1 回臨床研究 Web セミナー	2023 年 12 月	佐藤享也
がん、非がん、有害事象のエビデンス	日本アカデミック・ディテレーリング研究会 第 2 回ディテレーラー養成プログラム	2023 年 11 月	佐藤享也



演題	学会名	発表月	氏名
誰がやる？ 薬剤師でしょ 抗がん剤の皮膚障害対策	第 53 回日本病院薬剤師会 関東ブロック学術大会	2023 年 8 月	佐藤淳也
ガイドラインから非ステロイド性鎮痛薬を知る がん	日本アカデミック・ディテールン 研究会 第 1 回ディテラー養成 プログラム	2023 年 8 月	佐藤淳也
呼吸器症状緩和に対する薬物療法の Evidence Update	第 6 回栃木県緩和と支持療法研 究会	2023 年 7 月	佐藤淳也
入院中のオピオイド自己管理へ向けた取り組み	第 28 回日本緩和医療学会	2023 年 6 月	佐藤淳也
緩和ケア施行患者のせん妄に対するペロスピ ロン坐薬の調製と使用経験	第 8 回日本がんサポーターブケア学 会学術集会	2023 年 6 月	佐藤淳也, 藤本泰輔, 梅田 鈴香, 塚越真由美, 田中 怜
緩和ケア施行患者に使用するオピオイド、 ステロイド、ベンゾジアゼピン、抗コリン 薬、抗ヒスタミン薬は、せん妄治療薬の効果 に影響するのか？	第 16 回日本緩和医療薬学会	2023 年 5 月	佐藤淳也, 梅田鈴香, 塚越 真由美, 田中 怜
「緩和医療薬学研究における S DGs を考える ～研究成果を投稿し、持続可能な緩和医療の 発展を目指そう～」	第 16 回日本緩和医療薬学会	2023 年 5 月	佐藤淳也
チーム医療の実践力を育む2年次学生向け演習 の薬学教育モデル・コアカリキュラム (令和 4 年度改訂版 への対応状況と今後の課題	日本教育学会 第 82 回大会	2023 年 8 月	寺島朝子、細谷龍一郎、小 野塚真理、佐野和美、市丸嘉 加藤紘一、加藤裕久、定本清 美、塩田清二、進藤綾大、須藤 遥、殿山泰弘、古屋博行、 山崎泰広、若山恵、石橋芳 雄、加賀谷肇、鈴木勉
芳香療法による運動疲労の回復効果	日本薬学会	2024/3/28	原 香織、山下 道生、柴藤 淳子、Rakwal Randeep、千 葉 義彦、塩田 清二、竹ノ谷 文子
スギ花粉誘発過敏性鼻粘膜組織における H3 受 容体遺伝子H rh3 発現の増加	日本薬学会	2024/3/28	野田 葉、山下 道生、安藤 祐介、竹ノ谷 文子、渡辺 知 恵、塩田 清二、酒田 寛泰、 花崎元彦、千葉 義彦
PACAP 受容体欠損マウスの行動異常とその 原因遺伝子の探索	日本薬学会	2024/3/28	野原 朋輝、山下 道生、柴藤 淳子、Rakwal Randeep、平 林敬浩、塩田 清二、竹ノ谷 文子
PACAP 受容体ノックアウトマウス を用いた PACAP の老化抑制作用	日本薬学会	2024/3/28	山浦 紘人、山下 道生、柴 藤淳子、Rakwal Randeep、平 林敬浩、塩田 清二、竹ノ谷 文子
PAC1R KO マウスを用いた PA CAP による汗分 泌促進機構のトランスクリプトーム解析	日本薬学会	2024/3/28	山下 道生、柴藤 淳子、 Rakwal Randeep、平林 敬 浩、千葉義彦、塩田 清二、 竹ノ谷 文子
リン酸水素イオンの触媒作用による 5-フェニ ルヒダントインのラセミ化機構：DFT 計算 からの新知見	第 17 回 D-アミノ酸学会学術講演 会	2023 年 9 月 7 日	高橋央宜
一般公演③10～13 (4題)	第 17 回 D-アミノ酸学会学術講演 会	2023 年 9 月 7 日	定金豊、高橋央宜 (座長)
タンパク質中に生成したスクシンイミド中 間体のラセミ化：リン酸水素イオンによる触媒 作用の可能性の計算化学的研究	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月 30 日	高橋央宜

演題	学会名	発表月	氏名
宮城県産フキノトウ (Petasites japonicus) から単離した新規セスキテルペノイドの構造と PTP1B阻害活性	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月 30 日	山崎寛之、高橋央宜、内田龍児
フェンタニル由来のオピオイド $\mu$ 受容体アンタゴニストの創製	第 86 回関東支部シンポジウム	2023 年 5 月	富澤 幸 1、菊川 俊太郎 1、有田 浩暢 1、坂田 遥佳 1、中村佳代 1、牧野 宏章 2、田畑 英嗣 3、忍足 鉄太 3、夏莉 英昭 4、船田 正彦 5、高橋 秀依 1
危険ドラッグにおける乱用・流通規制の現状と研究の最前線	第 53 回日本神経精神薬理学会年会	2023 年 10 月	船田正彦
新規 $\mu$ オピオイド受容体拮抗薬の創製	第 40 回メディシナルケミストリーシンポジウム-231113	2023 年 11 月	有田浩暢1)、菊川俊太郎1)、富澤幸1)、中村佳代1)、田畑英嗣2)、忍足鉄太 2)、夏莉英昭 3)、船田正彦 4)、高橋秀依
合成カンナビノイドの薬理学と毒性評価	日本ヘンプ協会 第 3 回 学術講演会	2023 年 12 月	船田正彦
オピオイド $\mu$ 受容体アンタゴニストの合成と構造活性相関	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月	富澤幸 1、菊川俊太郎 1、有田浩暢 1、中村佳代 1、牧野宏章 2、田畑英嗣 3、忍足鉄太 3、夏莉英昭4、船田正彦 5、高橋秀依1
フェンタニル誘導体の構造活性相関	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月	坂田 遥佳 1、有田 浩暢 1、菊川 俊太郎 1、富澤 幸 1、船田 正彦 2、富山健一 3、田畑 英嗣 4、中村 佳代 1、忍足 鉄太 4、夏莉 英昭 5、高橋 秀依 1
米国における大麻規制の変化とその社会的影響について	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月	船田正彦、池上大悟、富山健一
飲酒が肝機能に及ぼす影響-神奈川県年次推移に関する解析-	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月	加藤英明、曾川甲子郎、浅野哲、池上大悟、船田正彦、鈴木勉
CBD の発生毒性予測に関する研究：ヒト iPS 細胞を用いた検討	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月	曾川甲子郎、池上大悟、加藤英明、船田正彦
根拠に基づいたコミュニケーションスキルの醸成-新モデルコアカリキュラムを志向した教育・研究・実務について-	第 8 回日本薬学教育学会大会シンポジウム 4	2023 年 8 月 19 日 (土)	湯本哲郎 (オーガナイザー)
真菌感染症の病理 -酵母と糸状菌はココが違う-	第 203 回酵母細胞研究会例会	7 月 14 日	若山 恵
基礎と臨床をつなぐ取り組みとしての生物系基礎科目；1年前期「生物系基礎科学」の例	第 8 回日本薬学教育学会大会	8 月	須藤遥、殿山泰弘、寺島朝子、加賀谷肇、定本清美、石田洋一
薬学教育における実習材料としてのメダカの有用性	第 8 回日本薬学教育学会大会	8 月	殿山泰弘、須藤遥、寺島朝子、加賀谷肇、定本清美、石田洋一
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における過酸化型 Prx2 のバイオマーカーとしての可能性	第 41 回日本ヒト細胞学会学術集会	8 月	須藤遥、小池伸、上山雅子、田中良明、木村弘、小笠原裕樹、石田洋一
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における赤血球中 Peroxiredoxin 2 の酸化状態の解析	第 45 回日本睡眠学会学術集会	9 月	上山雅子、小池伸、須藤遥、田中良明、石田洋一、木村弘、小笠原裕樹
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における過酸化型 Prx2 のバイオマーカーの解析	日本薬学会 144 年会	3 月	須藤遥、小池伸、上山雅子、田中良明、木村弘、小笠原裕樹、石田洋一
病原性酵母の菌体表層分子に結合するヒト分子の探索	第 67 回日本薬学会関東支部大会	2023 年 9 月 16 日	市川智恵、石橋芳雄

演題	学会名	発表月	氏名
グリコサミノグリカンに結合する Tichosporon asahii 菌体表層タンパク質の探索	第 67 回 医真菌学会総会	2023, 10 月 6 日	市川智恵, 石橋芳雄
チーム医療の実践力を育む 2 年次学生向け演習の薬学教育モデル・コアカリキュラム (令和 4 年度改訂版) への対応状況と今後の課題	第 8 回 日本薬学教育学会大会	2023 年 8 月 20 日	寺島朝子、細谷龍一郎、小野塚真理、佐野和美、他
核内受容体 NR4A2/RXR を介した T 細胞分化制御活性を持つ天然化合物の解析	日本生薬学会第 69 回年会	2023 年 9 月 9 日	小谷 仁司, 片川 和明, 井上誠, 原田 守
受容体データベース BindingDB の有用性の検討	第 9 回 日本医薬品安全性学会学術大会 (東京)	2023 年 7 月 17 日	細谷龍一郎、寺島朝子、野澤(石井)玲子、加賀谷肇、植沢芳広
基礎と臨床をつなぐ取り組みとしての生物系基礎科目 ; 1 年次前期「生物系基礎科学」の例	第 8 回 日本薬学教育学会 (熊本)	2023 年 8 月 20 日	殿山泰弘、須藤遙、寺島朝子、加賀谷肇、定本清美、石田洋一
薬学教育における実習教材としてのメダカの有用性	第 8 回 日本薬学教育学会 (熊本)	2023 年 8 月 20 日	須藤遙、殿山泰弘、寺島朝子、加賀谷肇、定本清美、石田洋一
チーム医療の実践力を育む 2 年次学生向け演習の薬学教育モデル・コアカリキュラム (令和 4 年度改訂版) への対応状況と今後の課題	第 8 回 日本薬学教育学会 (熊本)	2023 年 8 月 20 日	寺島朝子、細谷龍一郎、小野塚真理、佐野和美、市丸嘉、加藤紘一、加藤裕久、定本清美、塩田清二、進藤綾大、須藤遙、殿山泰弘、古屋博行、山崎泰広、若山恵、石橋芳雄、加賀谷肇、鈴木勉
Yahoo! 知恵袋を用いた緊急避妊薬に係る質問内容の抽出と緊急避妊薬使用者に対する説明書の提案	第 8 回 日本薬学教育学会 (熊本)	2023 年 8 月 20 日	中村洋、杉浦真理子、寺島朝子、石崎幸
薬剤誘発性吃逆とドパミン D2 受容体の関係	第 33 回 日本医療薬学会年会 (仙台)	2023 年 11 月 4 日	細谷龍一郎、寺島朝子、野澤(石井)玲子、植沢 芳広、加賀谷肇
薬剤性吃逆 (しゃっくり) と関連する核内受容体の検討	2024 年緩和医療薬学会 (神戸)	2024 年 1 月 11 日	細谷龍一郎、寺島朝子、野澤(石井)玲子、植沢芳広、加賀谷肇
OTC 化に向けた緊急避妊薬に関する一般消費者の情報ニーズおよび「性と生殖に関する健康と権利」に関する意識調査	日本薬学会 144 年会 (横浜)	2024 年 3 月 29 日	寺島朝子、中村洋、竹平理恵子
シンポジウム 5 「高齢者の両立支援」	第 69 回 日本職業・災害医学会	11 月 27 日	寺本 明 (座長)
シンポジウム 13 「脳室内腫瘍に対する手術戦略」	第 26 回 日本脳腫瘍の外科学会	9 月 10 日	寺本 明 (座長)
先端巨大症と間脳下垂体疾患の手術アップデート	第 94 回 日本内分泌学会	2021 年 4 月 23 日	大山健一、寺本 明、松野 彰
片頭痛の慢性化における性差メカニズム	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月	池上 大悟、Navratilova Edita、Yue Xu、Kopruszinski Caroline、船田 正彦、Porreca Frank
米国における大麻規制の変化とその社会的影響について	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月	船田 正彦、池上 大悟、富山健一
CBD の発生毒性予測に関する研究: ヒト iPS 細胞を用いた検討	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月	曾川 甲子郎、池上 大悟、加藤 英明、船田 正彦
飲酒が肝機能に及ぼす影響—神奈川県年次推移に関する解析—	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月	加藤 英明、曾川 甲子郎、浅野 哲、池上 大悟、船田 正彦、鈴木 勉
アントラセンを導入した Bis(2-picoly)amine 誘導体—亜鉛錯体の DNA 光切断活性	第 67 回 日本薬学会関東支部会	2023/09	市丸嘉、加藤紘一、栗原正明、黒崎博雅

演題	学会名	発表月	氏名
大環状ポリアミン-亜鉛錯体の単結晶 X 線結晶構造解析	日本薬学会年会要旨集 144 年会	2024/03	市丸嘉, 加藤紘一, 黒崎博雅, 栗原正明
Experience switching from no n-PEG-G-CSF formulae to PEGylated G-CSF body pots	第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会	2024 年 2 月	Ayumi Ozaki, Yusuke Fujiwara, Muneo Okamoto and JunyaSato
$\beta$ -アミノ酸はなぜタンパク質構成アミノ酸になれなかったのか? : 計算化学的研究	第 87 回日本生化学会中部支部例会 (長久手・オンライン)	5	仲吉朝希、加藤紘一、藪万有香、栗本英治、小田彰史
$\gamma$ S-クリスタリンにおける全アスパラギン残基の脱アミド化による凝集促進	第 23 回日本蛋白質科学会年会 (名古屋)	5	加藤紘一、仲吉朝希、栗本英治、小田彰史、石川吉伸
Virtual alanine scan による SARS-CoV-2 メインプロテアーゼ阻害剤エンシトレルビル の耐性発現に関する残基の予測	第 69 回日本薬学会東海支部総会・大会 (名古屋)	7	水野文人、仲吉朝希、加藤紘一、栗本英治、小田彰史
一残基の脱アミド化がウシ膵臓リボヌクレアーゼ A の立体構造に与える影響の分子動力学シミュレーションによる解析	第 69 回日本薬学会東海支部総会・大会 (名古屋)	7	中野真緒、仲吉朝希、加藤紘一、栗本英治、小田彰史
分子動力学シミュレーションを用いた CYP3A4 変異体の立体構造推定	第 69 回日本薬学会東海支部総会・大会 (名古屋)	7	水谷衣美、仲吉朝希、加藤紘一、菱沼英史、平塚真弘、栗本英治、小田彰史
野生型及び変異型ジヒドロピリミジナーゼの立体構造の分子動力学シミュレーションによる解析	第 69 回日本薬学会東海支部総会・大会 (名古屋)	7	竹内真南恵、加藤紘一、仲吉朝希、菱沼英史、平塚真弘、栗本英治、小田彰史
Computational study of the Ring Opening Process in Nonenzymatic Peptide Bond Cleavage at the C-Terminal Side of an Asparagine Residue	34th IUPAP Conference on Computational Physics (Kobe)	8	Koichi Kato, Tomoki Nakayoshi, Eiji Kurimoto, Akifumi Oda, Yoshinobu Ishikawa
Molecular Dynamics Simulations of Computationally Predicted Protein-Ligand Complex Structures to Evaluate the Structural Validity	34th IUPAP Conference on Computational Physics (Kobe)	8	Koichi Kato, Tomoki Nakayoshi, Yuna Moritsuki, Saki Maki no, Eiji Kurimoto, Akifumi Oda
SARS-CoV-2 メインプロテアーゼとエンシトレルビルの複合体に対する virtual alanine scan による 1 残基の変異が立体構造に与える影響の予測	第 51 回構造活性相関シンポジウム (東京)	11	水野文人、仲吉朝希、加藤紘一、栗本英治、小田彰史
メイラード反応初期段階におけるシッフ塩基形成反応の量子化学計算による解析	第 51 回構造活性相関シンポジウム (東京)	11	加藤紘一、仲吉朝希、篠原康郎、栗本英治、小田彰史、石川吉伸
Asn 残基の非酵素的脱アミド化における隣接する Phe 残基の影響についての量子化学計算による解析	第 51 回構造活性相関シンポジウム (東京)	11	浅井遥、加藤紘一、仲吉朝希、栗本英治、小田彰史、福石信之
分子動力学計算による遺伝子多型が CYP2C8 の立体構造に与える影響の推定	第 10 回 CBI 学会個別化医療研究会 (岐阜)	2	仲吉朝希、加藤紘一、栗本英治、平塚真弘、鷹野優、小田彰史
原始タンパク質構成要素としてのセリンの役割の計算化学的解明	日本物理学会2024 年春季大会 (オンライン)	3	仲吉朝希、加藤紘一、栗本英治、小田彰史
$\beta$ -アスパラギン酸を含む原始タンパク質候補の立体構造形成に関する分子動力学シミュレーション	第 48 回生命の起原および進化学会学術講演会 (横浜)	3	仲吉朝希、加藤紘一、栗本英治、小田彰史
アスパラギン残基の脱アミド化による $\gamma$ S クリスタリンの構造変化と凝集の関係	日本薬学会第 144 年会 (横浜)	3	加藤紘一、仲吉朝希、栗本英治、小田彰史、石川吉伸
分子動力学シミュレーションによる SARS-CoV-2 メインプロテアーゼ-ニルマトレルビル複合体の構造的特徴の解析	日本薬学会第 144 年会 (横浜)	3	清井義、仲吉朝希、加藤紘一、栗本英治、小田彰史

演題	学会名	発表月	氏名
CYP3A4 変異体の立体構造解析および酵素活性への影響の推定のための分子動力学シミュレーション	日本薬学会第 144 年会 (横浜)	3	矢崎望歩、仲吉朝希、加藤紘一、水谷衣美、菱沼英史、平塚真弘、栗本英治、小田彰史
Asp 残基の立体反転が 4 量体アミロイド $\beta$ 1-42 の立体構造に与える影響	日本薬学会第 144 年会 (横浜)	3	新垣あゆみ、仲吉朝希、加藤紘一、栗本英治、小田彰史
薬学教育における実習教材としてのメダカの有用性	第 8 回 日本薬学教育学会大会	2023 年 8 月	殿山 泰弘、須藤 遥、寺島朝子、加賀谷 肇、定本 清美、石田 洋一
メダカを用いた脂肪組織の定量的評価法の確立と PPAR $\gamma$ アゴニスト経口摂取のメダカ脂肪組織形成への影響	第 9 回 ゼブラフィッシュ・メダカ創薬研究会	2023 年 11 月	殿山 泰弘、塚田匡輝、今井良政、河内浩行、杉浦省三
共融混合物への塩酸塩添加による膜透過性の変化	日本薬剤学会第 38 年会	令和 5 年 5 月 18 日	杉野雅浩、鈴木志保、宍戸玲奈、中橋奨、渡邊哲也
JADER 研究の事始	第 1 回緩和医療薬学会臨床研究セミナー	2023 年 12 月	細谷龍一郎
薬剤誘発性吃逆とドパミン D2受容体の関係	第 33 回日本医療薬学会年会	2023 年 11 月	細谷龍一郎、寺島朝子、野澤玲子、加賀谷肇、植沢 芳広
受容体データベース BindingDB の有用性の検討	第 9 回日本医薬品安全性学会	2023 年 7 月	細谷龍一郎、寺島朝子、野澤玲子、加賀谷肇、植沢 芳広
受容体データベース BindingDB と副作用データベースとの併用の検討	第 16 回緩和医療薬学会	2023 年 5 月	細谷龍一郎、寺島朝子、野澤玲子、加賀谷肇、植沢 芳広
後期高齢者を対象とした酸化マグネシウム製剤による高マグネシウム血症のリスク因子の検討	第 16 回 緩和医療薬学会年会	2023 年 5 月 27 日	石井英俊、塩見めぐみ、渋谷清、国分秀也
基礎と臨床をつなぐ取り組みとしての生物系基礎科目;1 年次前期「生物系基礎科学」の例	第 8 回日本薬学教育学会大会	8 月 20 日	須藤 遥、殿山 泰弘、寺島朝子、加賀谷 肇、定本 清美、石田 洋一
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における過酸化型 Prx2 のバイオマーカーとしての可能性	第 41 回日本ヒト細胞学会学術大会	8 月 26 日	須藤 遥、小池 伸、上山雅子、田中 良明、木村弘、小笠原 裕樹、石田 洋一
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における過酸化型 Prx2 の解析	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月 31 日	須藤 遥、小池 伸、上山雅子、田中 良明、木村弘、小笠原 裕樹、石田 洋一
神奈川県の下水処理施設近傍の水域を対象とした薬剤耐性菌の実態調査	第 67 回日本薬学会関東支部	2023 年 9 月	曾川甲子郎、加藤英明
飲酒が肝機能に及ぼす影響-神奈川県年次推移に関する解析-	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月	加藤英明、曾川甲子郎、浅野哲、池上大悟、船田正彦、鈴木勉
CBD の発生毒性予測に関する研究: ヒト iPS 細胞を用いた検討	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月	曾川甲子郎、池上大悟、加藤英明、船田正彦
緩和ケア施行患者に使用するオピオイド、ステロイド、ベンゾジアゼピン、抗コリン薬、抗ヒスタミン薬は、せん妄治療薬の効果に影響するのかわ?	第 16 回日本緩和医療薬学会年会	2023 年 5 月 27 日	佐藤 淳也、梅田 鈴香、塚越真 由美、田中 怜
がん患者におけるルビプロストンの悪心発現に関与する因子の検討	第 16 回日本緩和医療薬学会年会	2023 年 5 月 27 日	倉田 陽加、田中 怜、賀茂 佳
がん疼痛治療におけるオキシコドン徐放錠とタペンタドール徐放錠の併用効果に関する検討	第 16 回日本緩和医療薬学会年会	2023 年 5 月 27 日	賀茂 佳子、田中 怜、磯岡 奈未、天田 斉子、佐藤 哲、佐藤哲観、佐藤 淳也、篠 道弘
がん疼痛制御におけるオキシコドン徐放錠-トラマドール徐放錠併用によるオピオイド増量率への影響	第 16 回日本緩和医療薬学会年会	2023 年 5 月 27 日	磯岡 奈未、田中 怜、賀茂 佳子、森本 重輝、鴨志田 武、石川寛、佐藤 哲、佐藤 哲観、佐藤 淳也、篠 道弘

演題	学会名	発表月	氏名
がん性痛に対するオピオイド導入薬としての $\mu$ オピオイド注射薬+トラマドール注射薬配 合薬の使用経験	第 16 回日本緩和医療薬学会年会	2023 年 5 月 27 日	佐藤 哲観, 佐藤 哲, 田中 怜, 賀茂 佳子, 天田 斉子, 磯岡奈未, 伊藤 和磨
傾向スコアマッチングを用いたオピオイド内 服薬におけるせん妄発現率の比較検討	日本医療薬学会 第6回 フレッシ ャーズ・カンファレンス	2023 年 6 月 11 日	田中 怜, 田中 大智, 橋爪 孝弘, 石川 寛, 佐藤 哲, 佐藤哲観, 斎藤 顕宜, 佐藤 淳也, 高橋 千恵子, 篠 道弘
本邦初がん薬物療法における支持療法アカ デミック・ディテリング普及に向けて～ NSAIDs適正使用に向けた資料開発～	第 8 回日本がんサポーターケア 学会学術集会	2023 年 6 月 22 日	尾関 理恵, 斎藤 顕宜, 佐 藤 淳也, 清水 忠, 田中 怜, 田村溪, 西森 久和, 宮嶋 篤志, 小茂田 昌代, 関 根 郁夫
緩和ケア施行患者のせん妄に対するペロスピ ロン坐薬の調製と使用経験	第 8 回日本がんサポーターケア 学会学術集会	2023 年 6 月 22 日	佐藤 淳也, 藤本 泰輔, 梅 田鈴香, 塚越 真由美, 田中 怜
The efficacy and safety profile of methadone for intractable cancer pain in advanced lung cancer patients	MASCC/JASCC/ISOO 2023 A nnual Meeting	2023 年 6 月 22 日	Yuko Iida, Tateaki Naito, Mei ko Morita, Motoki Sekikawa, Kosei Doshita, Keita Miura, Hiroaki Kodama, Noboru Morik awa, Nobuaki Mamesaya, Har uki Kobayashi, Ryo Ko, Kazu shige Wakuda, Akira Ono, Ha ruyasu Murakami, Tetsu Sato, Rei Tanaka, Yoshiko Kamo, S eiko Amada, Tetsumi Sato, To shiaki Takahashi
終末期を痛みの増強なく快適に過ごしてい た だくための神経ブロック療法～最近の内臓神 経ブロック自験例から～	第 28 回日本緩和医療学会学術大会	2023 年 6 月 22 日	佐藤 哲観, 杉本 達哉, 佐 藤 哲, 田中 怜, 賀茂 佳 子, 鈴木知美, 大野 茂樹, 川村 泰一, 川上 恭平
内臓神経ブロック施行時の輸液方法に関する検 討	日本ペインクリニック学会第 57 回学術集会	2023 年 7 月 14 日	佐藤 哲観, 佐藤 哲, 田中 怜, 賀茂 佳子, 天田 斉子, 鈴木知美, 奈良 亮謙
がん疼痛治療におけるオキシコドン徐放錠/ト ラマドール徐放錠併用療法とオキシコドン徐 放錠/タペンタドール徐放錠併用療法におけ る併用効果に関する後方視的比較検討	第 42 回鎮痛薬・オピオイドペプチ ドシンポジウム	2023 年 9 月 3 日	賀茂 佳子, 田中 怜, 磯 岡 奈未, 佐藤 哲, 佐藤 哲観, 佐藤 淳也, 篠 道弘
当院緩和ケアチームにおける 6 32 症例に対するオピオイド使用状況の検討	第 42 回鎮痛薬・オピオイドペプチ ドシンポジウム	2023 年 9 月 3 日	佐藤 哲観, 佐藤 哲, 賀茂 佳子, 田中 怜
薬学生の実務実習教材としても利用可能な睡眠 薬アカデミック・ディテリング資料の作成	日本アカデミック・ディテリング 研究会第 2 回学術大会	2023 年 9 月 3 日	田中 怜, 大矢 智則, 近江 一太, 佐藤 淳也
日本アカデミック・ディテリング研究会 臨 床エビデンス部会の活動と今後の展望	日本アカデミック・ディテリング 研究会第 2 回学術大会	2023 年 9 月 3 日	鈴木 貴之, 大矢 智則, 諸 橋賢人, 川島 紀明, 竹 田 馨, 佐々木 優, 藤田 早織, 佐野慶行, 大島 良 康, 田中 怜, 佐藤 淳也
薬剤選択ディシジョンツリーを取り入れた薬 学部実務実習生の処方提案の傾向分析	日本アカデミック・ディテリング 研究会第 2 回学術大会	2023 年 9 月 3 日	近江 一太, 大矢 智則, 田 中 怜, 佐藤 淳也
第 2 期における基礎薬学部の活動報告	日本アカデミック・ディテリング 研究会第 2 回学術大会	2023 年 9 月 3 日	清水 忠, 斎藤 顕宜, 西川 元也, 伊藤 俊将, 宮嶋 篤 志, 水野 美麗, 田中 怜, 黒原 崇, 田代 祐也, 上田 昌宏, 高橋伸幸, 奥 龍一

演題	学会名	発表月	氏名
膀胱がんに対するナノリポソームイリノテカン+フルオロウラシル/レボホリナート並列投与の安全性	第 33 回日本医療薬学会年会	2023 年 11 月 4 日	若林 茜, 川上 武志, 田中 愴, 福室 友里絵, 盛 啓太, 石川寛, 篠 道弘
緩和薬物療法認定薬剤師によるがん患者への介入指導の実態調査および非認定薬剤師との比較検討	第 33 回日本医療薬学会年会	2023 年 11 月 4 日	中川 隼一, 田中 愴, 菅 幸生, 宮崎 雅之, 佐藤 由美, 萩原諒一, 内田 まやこ, 高瀬 久光
がん患者を対象としたバンコマイシンの新規予測モデルの後方視的検討	第 33 回日本医療薬学会年会	2023 年 11 月 4 日	伊藤 和磨, 田中 愴, 相川 祐貴, 森本 重輝, 鴨志田 武, 石川 寛, 佐古 兼一, 篠 道弘
持続皮下注射投与時の皮膚障害発現率に関するヒドロモルフォン注とモルヒネ注の比較検討	第 34 回静岡県病院薬剤師会学術大会	2024 年 2 月 12 日	久永 直志, 橋爪 孝弘, 田中 愴, 佐藤 哲観, 賀茂 佳子, 佐藤 淳也, 森本 重輝, 鴨志田 武, 石川 寛, 佐藤 哲, 天田 奈子, 篠 道弘
薬局薬剤師による服薬フォローアップ事例に関する全国調査	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月 30 日	関谷 秀, 田中 愴, 飯嶋 久志, 中野 義雄, 宮崎 智, 豊見 敦, 橋場 元, 長津 雅則, 鹿村 恵明
Panitumumab 由来のざ瘡様皮疹に対する非ステロイド性抗炎症薬の内服による予防効果	日本薬学会第 144 年会	2024 年 3 月 31 日	田中 愴, 石川 寛, 佐藤 淳也, 青山 隆夫, 鹿村 恵明, 篠 道弘
宿泊型産後ケアにおける助産師のケアの質指標の開発ー専門家会議による適切性の検証ー	第 64 回日本母性衛生学会学術集会	2023/10/13 日	青島恵美子、島袋香子
宿泊型産後ケアにおける助産師のケアの質指標の開発助産師による合意形成	第 64 回日本母性衛生学会学術集会	2023/10/13 日	青島恵美子、島袋香子
更年期女性の更年期症状への関連因子についての横断調査	日本更年期と加齢のヘルスケア学会	2023 年 11 月	今野和穂
メノポーズカウンセラーワークショップ「更年期女性のウェルビーイングを支える」	日本更年期と加齢のヘルスケア学会	2023 年 11 月	今野和穂 (座長)
Concept Analysis of Menopausal Symptoms from the Perspective of Japanese Women Experiencing Menopause	East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)	2024 年 3 月	Kazuho Konno
奄美群島の特徴と保健師の関わりー奄美群島の保健師へのインタビューより	第 12 回日本公衆衛生看護学会学術集会	2024.1	阿部利香、山崎真帆、澤井美奈子